

放射線科

1. 概要

2015年1月には石原部長、高田副部長、中道医員、澤田医員の4人であったが、3月末で澤田医員が異動となり、2015年12月には、石原、高田、中道の3人で診療している。

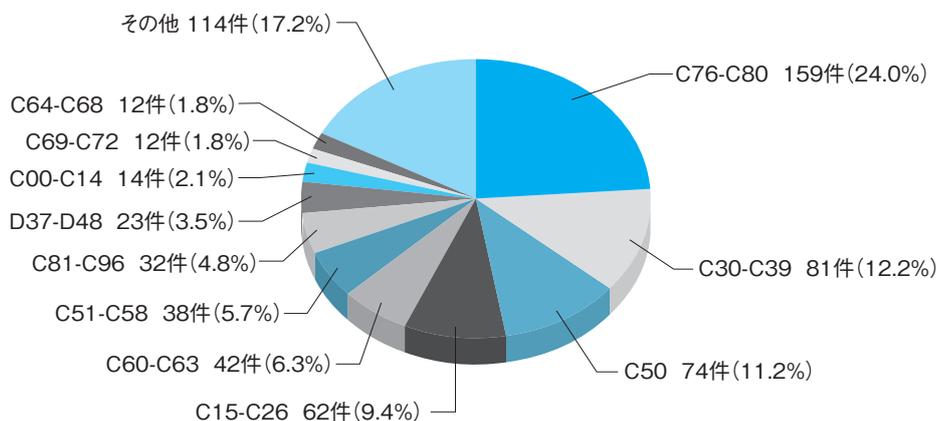
この1年間の業務実績は、読影が30,107件（CT 20,955件、MRI 7,980件、アイソトープ 1,172件）であった。その他、血管造影・IVR 94件、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法6件、骨転移に対するストロンチウム治療2件、放射線治療の新患331件であった。

2015年以降に向けての活動としては、放射線治療装置の更新・増設やPET/CT、SPECT/CT導入の最後の詰めを行った。

（部長 石原 俊一）

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：663件



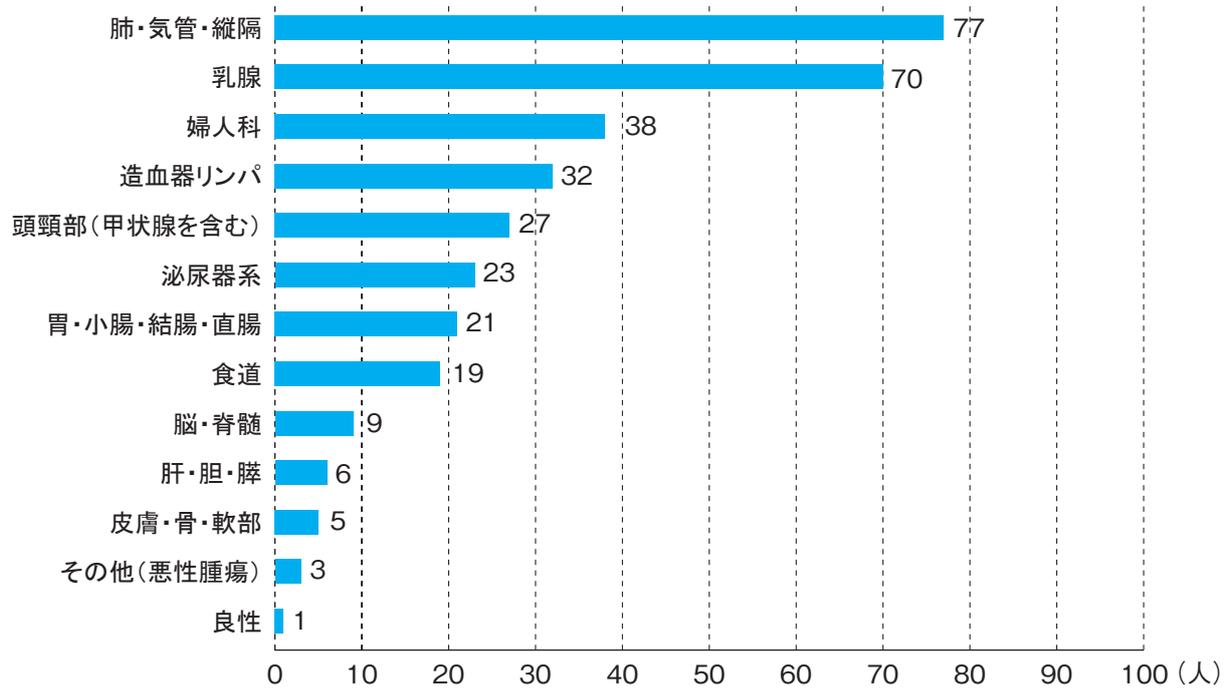
ICD-10 中間分類項目

- C76-C80：部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物
- C30-C39：呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物
- C50：乳房の悪性新生物
- C15-C26：消化器の悪性新生物
- C60-C63：男性生殖器の悪性新生物
- C51-C58：女性生殖器の悪性新生物
- C81-C96：リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物
- D37-D48：性状不詳又は不明の新生物
- C00-C14：口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物
- C69-C72：眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物
- C64-C68：腎尿路の悪性新生物

3. 活動報告

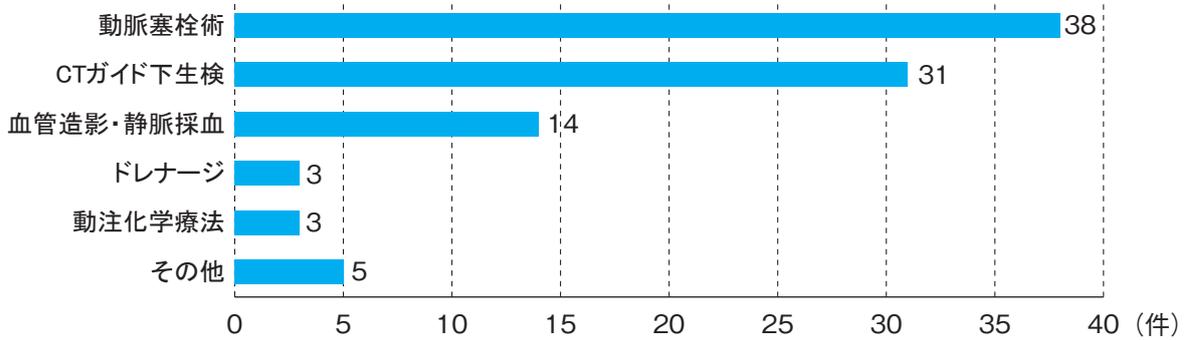
(1) 放射線治療原発部位別患者数

総患者数：331人



(2) 血管造影・IVR 手技別患者数

総患者数：94人



学会発表（医局）

<放射線科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	I 期声門癌に対する1回2.25Gyを用いた寡分割照射の多施設調査	共同演者	石原 俊一	第74回日本医学放射線学会総会	2015/4/17
2	放射線治療を施行した脳転移症例の予後	筆頭演者	石原 俊一	日本放射線腫瘍学会第28回学術大会	2015/11/20
3	Multicenter survey for T1 glottic cancer treated with 2.25Gy per fraction in clinical practice	共同演者	石原 俊一	日本放射線腫瘍学会第28回学術大会	2015/11/21

研究会発表（医局）

<放射線科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	他施設共同研究－Ⅰ期声門癌の1回2.25Gyによる放射線治療の実態調査	共同演者	石原 俊一	第32回東海頭頸部腫瘍研究会	2015/2/14
2	膝の皮下に生じたグロムス腫瘍	筆頭演者	高田 章	第106回名古屋レントゲンカンファレンス	2015/12/12

講演（医局）

<放射線科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	骨転移に対する放射線療法	石原 俊一	平成26年度 骨メタ公開カンファレンス	2015/2/26

論文・著書 (医局)

<放射線科>

No.	題 名	区分	氏名	著 書 名
1	Solitary Fibrous Tumors in the Extremities:Imaging Findings for Six Patients	共同著者	Takada Akira	Nagoya J Med Sci. 2015; 77: 167-178.
2	A case of undifferentiated carcinoma of the pancreas mimicking main-duct intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN)	共同著者	Nakamichi Rei	Abdom Imaging. 2015; 40: 466-470.